

1990年から続く一般対象の哲学入門講座です。
様々な角度から哲学・宗教・芸術・倫理などについて学びます。

平成30年度 西田幾多郎

哲 学 講 座

回	日時	内容	講師
①	4月28日【土】 午後1時30分	後期西田哲学とキリスト教 —終末論について—	石川県西田幾多郎 記念哲学館館長 浅見 洋
②	5月19日【土】 午後1時30分	出会いに行く哲学者 —臨床哲学入門—	大阪大学名誉教授 中岡 成文
③	5月20日【日】 午前10時	私と出会うための西田幾多郎	
④	7月28日【土】 午後1時30分	ヘレニズム時代の哲学（1） —幸福とは何か—	名古屋大学教授 金山 弥平
⑤	7月29日【日】 午前10時	ヘレニズム時代の哲学（2） —懐疑とは何か—	
⑥	9月29日【土】 午後1時30分	核時代のテクノロジー論 —ハイデガー（1）物と世界—	東北大学教授 森 一郎
⑦	9月30日【日】 午前10時	核時代のテクノロジー論 —ハイデガー（2）危機と転回—	
⑧	11月24日【土】 午後1時30分	ハンナ・アーレント —政治の基礎としての「共通感覚」—	金沢大学教授 仲正 昌樹
⑨	1月26日【土】 午後1時30分	手で考える、芸術創作の構造	金沢市立安江金箔 工芸館館長 川上 明孝
⑩	3月2日【土】 午後1時30分	人生の四季 —三木清の春夏秋冬—	富山大学教授 宮島 光志



1回からでも
気軽に参加
できる！

※石川県民大学校連携講座として、各回2単位を取得できます。必要な方は受付で学びカードをご提示ください。
※かほく市民大学校の対象講座として、各回4単位を取得できます。必要な方は受付で受講カードをご提示ください。

申込方法 〔各回受講〕申込不要です。直接会場にお越しください。
〔年間受講〕住所・氏名（フリガナ）・電話番号を、葉書・電話・FAX・E-mailなどにて右記までお申し込みください。申し込みは随時受け付けております。

※各回受講から年間受講への変更はできませんので、ご注意ください。
※個人情報、当館主催事業または県民大学校に関する目的以外には使用しません。

受講料 1回：500円、年間：2,000円

会場 石川県西田幾多郎記念哲学館

お問い合わせ

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角 井1
TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320
E-mail : nishida-museum@city.kahoku.ishikawa.jp

平成30年度
西田幾多郎哲学講座

講師、各講座のご紹介

浅見 洋 石川県西田幾多郎記念哲学館館長、石川県立看護大学特任教授

① 4月28日 [土] 午後1時30分

後期西田哲学とキリスト教 - 終末論について -

■講師、講座の紹介

西田幾多郎にとってキリスト教は宗教哲学的考察の対象であり、対話相手でした。特に、京都大学退職後の宗教思想には、弁証法神学と呼ばれる当時の最先端の神学の影響があるといわれています。「終末論」をキーワードに、西田幾多郎とキリスト教の関係についてお話いただきます。

■専門分野

西田幾多郎、宗教学、死生学

■主な著書・論文

『西田幾多郎とキリスト教の対話』（朝文社）

中岡 成文 大阪大学名誉教授、(一社)「哲学相談おんころ」代表理事

② 5月19日 [土] 午後1時30分

出合いに行く哲学者 - 臨床哲学入門 -

③ 5月20日 [日] 午前10時

私と出会うための西田幾多郎

■講師、講座の紹介

臨床哲学は本を読むだけでなく、「社会のさまざまな現場に自分から歩いていって、「出合い」を求め、新しいタイプの哲学」です。中岡先生は日本でいち早く臨床哲学に取り組み始めたパイオニアの一人です。先生は、その取り組みを始めた頃、『私と出会うための西田幾多郎』という著書も書かれています。臨床哲学とその視点から見た西田幾多郎についてお話いただきます。

■専門分野

ヘーゲル、ハーバーマス、西田幾多郎、臨床哲学

■主な著書・論文

『私と出会うための西田幾多郎』（出窓社）

金山 弥平 名古屋大学教授

④ 7月28日 [土] 午後1時30分

ヘレニズム時代の哲学 (1) - 幸福とは何か -

⑤ 7月29日 [日] 午前10時

ヘレニズム時代の哲学 (2) - 懐疑とは何か -

■講師、講座の紹介

アレクサンドロス大王が亡くなってポリス（都市国家）の規制力の弱まったこの時代、哲学者たちは世界市民としてどう生きるかを考え、個人の幸福について語りました。近世の哲学に大きな影響を与える「懐疑主義」も幸福になるためにこの時代に考え出された新しい方法の一つでした。古代懐疑主義の専門家である金山先生に、幸福と懐疑についてお話いただきます。

■専門分野

ギリシャ哲学、懐疑主義

■主な著書・論文

セクストス・エンペイリコス『ピュロン主義哲学の概要』（訳／京都大学出版会）

森 一郎 東北大学教授

⑥ 9月29日 [土] 午後1時30分

核時代のテクノロジー論 - ハイデガー (1) 物と世界 -

⑦ 9月30日 [日] 午前10時

核時代のテクノロジー論 - ハイデガー (2) 危機と転回 -

■講師、講座の紹介

20世紀最大の哲学者ハイデガー（1889-1976）はテクノロジーについて独自の考察を行いました。そのテクノロジー論の基本テキストである『ブレーメン講演』（1949年）は、原子爆弾の登場とその爆発の後にハイデガーが行った、核時代の到来を直視した時代批判の試みでもあります。3・11の原発事故以後、私たちはなにを考えることができるのでしょうか。

■専門分野

哲学、ハイデガー、アーレント

■主な著書・論文

『死を超えるもの - 3・11以後の哲学の可能性』（東京大学出版会）

仲正 昌樹 金沢大学教授

⑧ 11月24日 [土] 午後1時30分

ハンナ・アーレント - 政治の基礎としての「共通感覚」 -

■講師、講座の紹介

『全体主義の起源』で全体主義に至るまでの西欧近代の歴史の暗部を明らかにしたことで知られる政治哲学者ハンナ・アーレント。彼女が、「政治」の本質についてどう考えていたか、主著『人間の条件』と、晩年の「カント政治哲学」講義を繋いでお話いただきます。

■専門分野

法哲学、政治思想史

■主な著書・論文

『100分 de 名著 ハンナ・アーレント『全体主義の起源』』（NHK 出版）

川上 明孝 金沢市立安江金箔工芸館館長、金沢美術工芸大学名誉教授

⑨ 平成31年1月26日 [土] 午後1時30分

手で考える、芸術創作の構造

■講師、講座の紹介

創作の現場で「手で考える」と言われることがあります。「手で作る」や「頭で考える」という通常の言葉使いとはどこかが違う不思議な、しかし魅力的な言葉です。川上先生には、この言葉に込められている意味を明らかにし、芸術創作の実態に光を当てていただきます。

■専門分野

美学

■主な著書・論文

「文芸作品の真理・インガルデンの擬似判断説をめぐって」(『美学』/美学会)

宮島 光志 富山大学教授

⑩ 平成31年3月2日 [土] 午後1時30分

人生の四季 - 三木清の春夏秋冬 -

■講師、講座の紹介

三木清（1897-1945）は、西田幾多郎にあこがれて、東京の第一高等学校から京都大学へ進学した哲学徒です。ドイツ留学中はハイデガーに師事し、パスカルやマルクスの研究を発表する優れた哲学者でしたが、戦争末期に治安維持法で検挙。1945年9月26日、獄中で亡くなりました。三木の48年の人生についてお話いただきます。

■専門分野

カント哲学、三木清、応用倫理学

■主な著書・論文

『カント全集 16巻 自然地理学』（訳／岩波書店）